



第18回 日本フットボールリーグ

ファーストステージ 第10節

対 栃木ウーヴァFC 戦

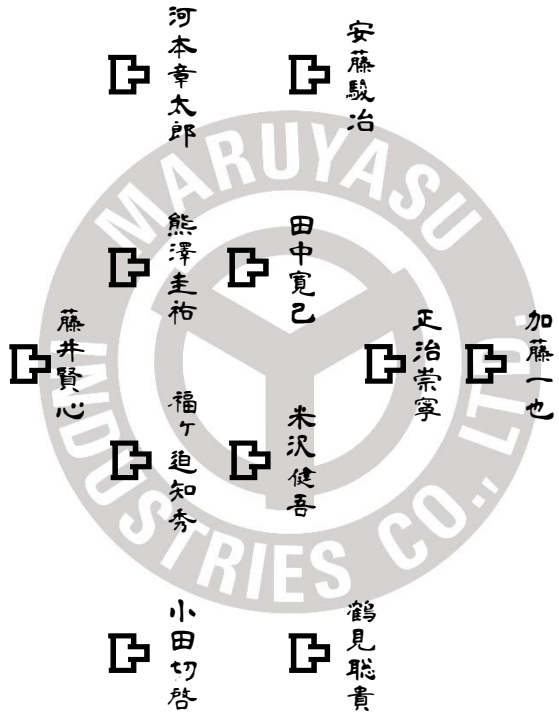
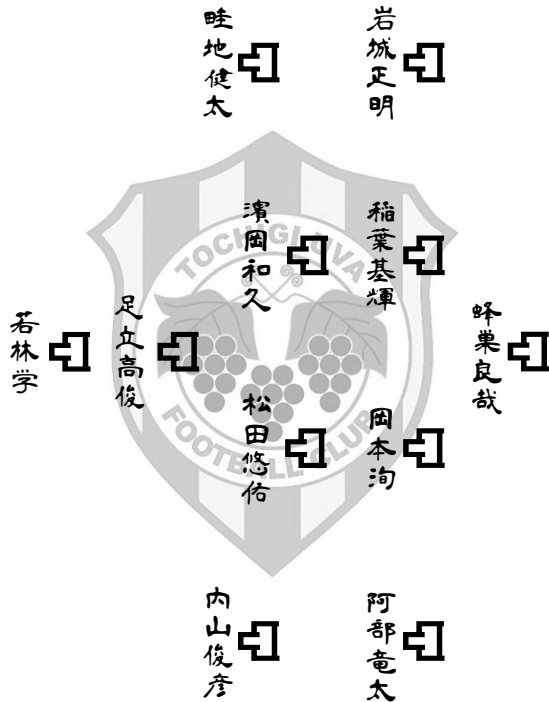
於 豊橋市岩田総合球技場

予想布陣図 屏風

(FCマルヤス岡崎蔵)

栃木ウーヴァFC 監督 堺陽二

1st 12位(勝点9) 「本拠地」下野国 栃木市



FCマルヤス岡崎 監督 山村泰弘
1st 14位(勝点7) 「本拠地」三河国 岡崎市

北関東の火牛

栃木ウーヴァFC

牛の角に刃をくくり、尾には油を染み込ませた葦を結び点火。すると暴れ狂った牛は敵陣へ一直線。その勢いに乗じて敵を攻める。これが「火牛の計」である。攻撃陣の破壊力が持ち味の栃木ウーヴァFC。失点こそリーグワーストだが、火牛のごとき攻めは相手にとって脅威だ。

呉牛月に
喘ぐことなかれ

岡山N戦では今季初の複数得点で勝利したFCマルヤス岡崎。勢いに乗りたいところだったが、前節では完封負けを喫した。数字の上では強豪とも渡り合えており、決定打が出れば白星にグツと近づく。

迎え撃つ今節の対戦相手は栃木ウーヴァFC。シーズン序盤こそ苦しんだものの、第5節で初勝利を得ると徐々に覚醒。守備に課題は残るが、それを上回る攻撃力で上位を窺いつつある。故事成語の「呉牛月に喘ぐ」とは、「何かを過度に恐れること」を意味する。

今年は守備の良いマルヤス。味方を信じ、恐れることなく攻め上がり、強烈な一突きでゴールを打ち破れ。

[今節のホールパーソン]桜丘高校サッカー部の皆様
試合運営へのご協力、誠にありがとうございます。

蔵の街 栃木市と

日光例幣使

市内を流れる巴波川(うずまがわ)を利用し、古くから水運で栄えた栃木市。かつて「北関東の商都」と称されたこの街には、今もその香りが色濃く漂う。江戸時代の商家や蔵が立ち並ぶ様子から、現在は「小江戸」とも呼ばれている栃木市だが、その成り立ちには徳川家康との縁も含まれている。

正保3年、江戸幕府は「日光例幣使(にっこうれいはいし)」という制度を定めこれを開始する。「幣帛(へいはく)」と呼ばれる捧げ物を神社へ届けるのが例幣使の役割だが、その中でも日光東照宮への運搬を担ったのが彼らだ。

日光例幣使は江戸を出立し、中山道と例幣使街道を経由して東照宮へと向かう。その道中、例幣使街道にあつたのが栃木宿である。例幣使制度の開始により、栃木の街は宿場として発展。この頃に形成された街並みは太平洋戦争の戦火を免れ、今にその姿を伝えている。

江戸幕府の開祖、そして日光東照宮の祭神は、もちろん徳川家康である。江戸から日光へ、家康公に始まり家康公に終わる街道が、宿場町の発展に寄与したというのはい過ぎだろうか。「美しいまちなみ大賞」を受賞した栃木市の風景には、岡崎市の英雄の姿も溶け込んでいるのかもしれない。

今節のイベント紹介

【さくらHR&

さくらチアーズ登場】

イケザえもと並ぶ岡崎市の二大アイドル、さくらHRとさくらチアーズの皆さんが登場！試合前にはご来場の皆様を入場口でお迎え、そして12時40分からはピッチサイドでパフォーマンスを披露してくれます！試合後には皆様をお見送り！

【選手紹介パネル5月号】

月ごとに質問内容が変わる選手紹介パネル。今月のお題は「もしサッカーになったらいなかったら？」です。入場口付近に掲示！イケザえもんは、スタジアム芸人になっていなかったら日本語教師を目指していたかもしれません。

もちろん、選手たちによるお見送りや、勝利時の試合後インタビューも実施予定！

本日のウエルカム

ミュージック

毎度おなじみ流浪の企画、ウエルカムミュージックです。相手チームの選手紹介時に、そのチームに関連のある音楽をBGMとして使用します。今日は栃木ウーヴァFCのスポンサーにちなみ、誰もが一度は聴いたことのあるあの曲をお届けします！



twitter
ikezaemon01

蹴球商店
SANO



カテキン1000mg配合！

ゴマザワ

熊のマークの大勝薬品

一粒であなたを守る

賢心

第二類医薬品

藤井模範堂

制作・文責
スタジオム
母子芸人
イケザえもん



次回主催試合 平成二十八年五月二十二日
対 奈良クラブ 戦

於 名古屋市港サッカー場